

# 江別商工会議所 ななかまど通信

## 「事業所向け通年雇用支援セミナー」のご案内

江別市・当別町・新篠津村や江別商工会議所などで組織する「季節労働者通年雇用促進支援協議会」では、地域の季節労働者の通年雇用を促進することを目的に活動していますが、この度、企業の経営の安定、経営基盤強化の取り組みを支援することを目的として当セミナーを開催します。企業の皆様におかれましては、下記内容をご確認いただき、お申込み下さいますようお願い致します。

- 開催日時 12月6日(火) 14:00~16:30
- 開催場所 江別市民会館37号室(江別市高砂町6番地)
- 申込締切 11月30日(水) ※参加費無料
- 内容 第一部「求人・採用に関するポイント」  
第二部「ワクワクする会社にも人も金も集まる」
- 参加対象 事業主様及び全社員
- 申込方法 下記より参加申込書をダウンロードの上FAX又は協議会へメールかお電話にて事業所名、事業所住所、連絡先、参加者名(役職あれば記載)をお知らせください。  
※URL: <https://ets-kisetsu.jimdofree.com/> → 事業案内 をクリック
- お申込み先 江別市経済部商工労働課内《季節労働者通年雇用促進支援協議会》  
電話: 381-1023 FAX: 381-1072  
mail: [ets-kisetsu@bd.wakwak.com](mailto:ets-kisetsu@bd.wakwak.com)

## 日商景気観測調査 10月調査結果

### 業況DIは、3カ月ぶりの改善もコスト増が重荷に 先行きは、円安や物価高の継続への警戒感強まる

日本商工会議所が発表した10月の全産業合計の業況DIは▲20.7と前月から2.6ポイントの改善。水際対策の緩和や全国旅行支援による客足の回復で飲食・宿泊業などのサービス業や百貨店などの小売業で業況が改善した。また、卸売業も小売業・サービス業向けの引き合い増加に牽引されて業況が改善した。製造業でも消費者向けの飲食品関連や日用品の受注増により業況が改善した。一方、建設業では、建設資材価格の高騰が続いており、価格転嫁も十分に行えず業況悪化が継続した。感染状況が小康状態となり、売上増加が見込まれるが、資源・原材料価格高騰の長期化や、150円台まで進んだ円安等によるコスト増がさらなる重荷となり、中小企業の業況は改善を示すも力強さを欠いている。

先行きについては、先行き見通しDIが▲22.2(今月比▲1.5ポイント)へ悪化。

経済活動が正常化に向かう中、設備投資等の民間工事の受注増を期待する声が建設業で聞かれた。一方で、資源・原材料価格の高騰や円安の継続、人手不足に伴う人件費増加や電気代の上昇等、数多くのコスト増要因による企業経営への影響が懸念される。さらに、欧米のインフレ対策等による世界経済の鈍化への不安感も重なり、中小企業の先行きは警戒感が強まっている。

ブロック別では、北海道地区が▲16.4と、前月から7.8ポイント悪化。

建設業では、民間工事を中心に受注増の傾向にあり、また、手持ち工事が順調に進捗しているため売上は改善しているものの、資材価格・燃料価格の高騰が続いている影響で、採算が悪化した。製造業では、社会のデジタル化に伴う印刷物の需要減に加え、円安による紙やインク等の原材料価格上昇の影響を受けた印刷業等で売上・採算が悪化した。

※全国330商工会議所が2,541企業にヒアリングを実施